

# 住宅を脱炭素化する補助金があります!

名古屋市では、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出を少なくする住宅の普及をめざし補助を行っています。

## ●対象となる機器及び住宅

区分	主な要件	補助金額	
一体的導入	太陽光発電設備	築10年超の住宅 <sup>※1</sup> 30,000円/kW (上限9.99kW)	
	+	市内の住宅に、太陽光発電設備・HEMS・蓄電システム又はV2H充電設備を同時に導入	
	HEMS		築10年以下の住宅 <sup>※1</sup> 20,000円/kW (上限9.99kW)
	+		蓄電システム 15,000円/kWh (上限10kWh)
V2H充電設備	50,000円/件		
ZEH	ZEH	国のZEH補助 <sup>※2</sup> を受ける新築住宅 100,000円/件	
	ZEH+	国のZEH+補助 <sup>※2</sup> を受ける新築住宅 200,000円/件	
	新規 GX志向型住宅	国のGX志向型住宅補助 <sup>※2</sup> を受ける新築住宅 300,000円/件	
	蓄電システム	ZEH,ZEH+,GX志向型住宅と蓄電システムを同時に導入 15,000円/kWh (上限10kWh)	
V2H充電設備	新たに設置または設置された新築住宅等 <sup>※3</sup> の購入 50,000円/件		
蓄電システム	新たに設置または設置された新築住宅の購入 15,000円/kWh (上限10kWh)		
断熱窓改修	国の断熱窓改修補助 <sup>※4</sup> を受ける断熱窓 補助対象経費の1/3 (上限100,000円)		
エネファーム	新たに設置または設置された新築住宅の購入 <sup>※5</sup> 30,000円/件		

※1 それぞれの住宅の要件については、要綱や申請の手引きで確認してください。  
 ※2 経済産業省、国土交通省または環境省が実施するZEH、ZEH+及びGX志向型住宅への補助事業  
 ※3 事業所への設置も補助対象となります。 ※4 経済産業省、国土交通省または環境省が実施する断熱窓改修への補助事業  
 ※5 停電時自立運転機能の付いた機器が補助対象です。 ※6 手続きの流れについては裏面をご覧ください。

詳しくは、申請の手引き等をご覧ください。  
 また、申請書類や申請の手引き等は名古屋市公式サイトからダウンロードすることができます。

## ●手続きの流れ

# 「事後申請」に変わりました!

設置工事及び引渡し完了後、「交付申請書兼実績報告書」を提出してください。



※郵送または電子申請システムから、ご提出ください。  
 郵送で提出される場合、消印有効となります。  
 詳しくは、名古屋市公式ウェブサイト「住宅等の脱炭素化促進補助」をご確認ください。

## ●書類提出先 及び「補助金の制度概要、書類の記入方法等」に関するお問い合わせ先

〒453-0018  
 名古屋市中村区佐古前町22-13 森ビル502  
 株式会社MTK内  
 「住宅等の脱炭素化促進補助金 受付窓口」  
 TEL 052-485-7073 FAX 052-485-7038 ✉ datsutanso@mtk-jp.co.jp



## ●申請書類・申請の手引き等の入手先

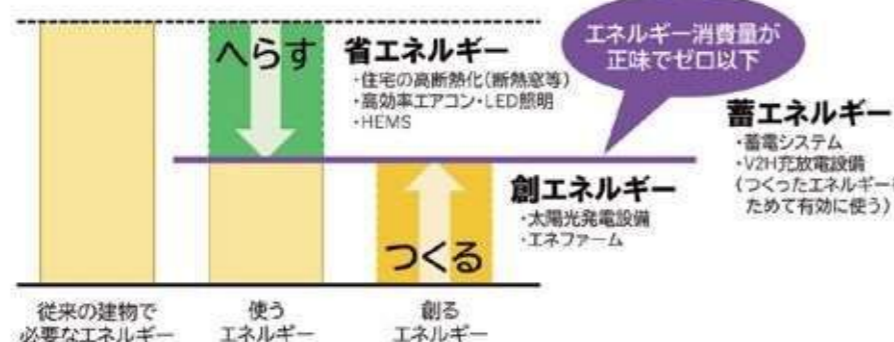
名古屋市公式ウェブサイト「住宅等の脱炭素化促進補助」  
<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/kankyou/1012424/1012443/1012445.html>



## 住宅の脱炭素化はメリットいろいろ ※詳細は中面をご覧ください。

- 国は2030年に、新築住宅の省エネ性能を最低でもZEH水準とすることを目指しており、その手始めとして、2025年度から、新築住宅に一定水準の省エネ性能が義務づけられました。
- ZEHは、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の排出削減はもとより、光熱費の削減、住宅の高断熱化によるヒートショックの予防や窓の結露の低減、太陽光発電設備の導入による災害時の電力確保などの様々なメリットがあります。
- 既存住宅においても、LED照明や太陽光発電設備の導入、あるいは、断熱窓などの住宅の高断熱化をはかることで、ZEHと同様に様々なメリットを得ることができます。

### ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)のエネルギー消費量ゼロの考え方



# 住宅を脱炭素化しよう!

光熱費の削減、生活の質の向上、健康リスクの低減、災害対策などメリットいろいろ!

## 太陽光発電設備

太陽エネルギーを電気に変換して使用します。

- メリット
- 電気代を削減し、余った電気は売電できる
  - 日差しがあれば停電時にも電気を使える

## エネファーム (家庭用燃料電池システム)

都市ガスなどから取り出した水素を利用して発電し、その時に発生する熱を給湯等に使用します。

- メリット
- 少ないエネルギーで給湯できる
  - 停電時にも電気を使える

## 蓄電システム

太陽光発電設備で発電した電気を使いながら余った電気を蓄えます。

- メリット
- 太陽光発電設備で発電した電気を無駄なく使える
  - 停電時にも電気を使える

## 断熱窓改修

窓の断熱性を高めます。

- メリット
- 光熱費の削減
  - 「夏涼しく」「冬暖かい」快適空間に
  - ヒートショック対策
  - 防音効果・防犯対策・結露の軽減が期待できる

## HEMS (ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)

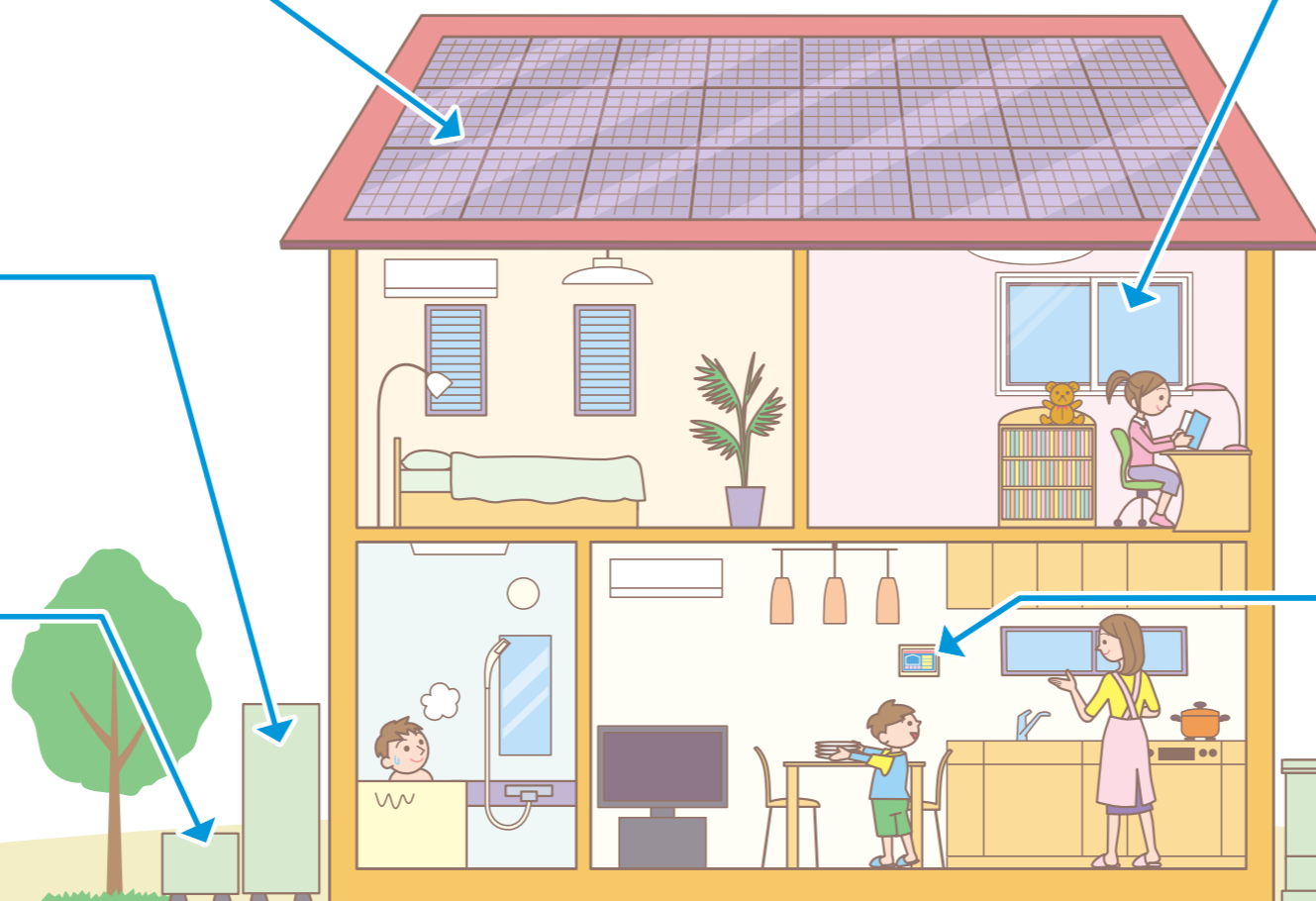
エネルギーを“見える化”し、家電等の使用を最適に管理します。

- メリット
- 節電意識の向上
  - 家電の自動制御による節電

## V2H充放電設備 (ビークル・トゥー・ホーム)

電気自動車等に太陽光発電設備で創った電気を充電するとともに、夜間や停電時には電気自動車等の電気を住宅で使用することができます。

- メリット
- 電気自動車等が車としても、蓄電システムとしても使える
  - 太陽光発電設備で発電した電気を無駄なく使える



## その他にも省エネ工事を補助する制度があります!

### 住宅金融支援機構のグリーンリフォームローンの利用者に対する利子補給等

名古屋市内に所在する住宅の所有者が、住宅金融支援機構の融資であるグリーンリフォームローンを利用し既存住宅のZEH化リフォームを行う際に、ご活用いただけます。

- 上記の融資を受ける際に最長10年間利子補給 (上限あり)
- 融資に必要な適合証明書発行手数料を補助 (上限15万円)

グリーンリフォームローンに関するお問い合わせ: (独)住宅金融支援機構 TEL 0120-0860-35  
利子補給制度に関するお問い合わせ: 住宅都市局住宅企画課 TEL 052-972-2944



### 省エネルギー改修工事が行われた住宅に対する固定資産税の減額

平成26年4月1日以前から所在する住宅で、窓を含む断熱改修工事や太陽光発電設備の取り付け工事などを行うと、固定資産税の減額制度が活用できる場合があります。

- 一定の要件を満たし、省エネルギー改修工事が完了した日から3か月以内に申告することで、その住戸に相当する固定資産税額の1/3を1年間減額 (住戸1戸あたり居住面積120㎡まで)

お問い合わせ先: 住宅が所在する区を担当する市税事務所  
固定資産税課家屋担当



## ゼッチ ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境を保ちながら、できる限りの省エネルギーに努め、さらに、太陽光発電等によりエネルギーを創り出すことで、家庭で消費する年間のエネルギー量が正味(ネット)でゼロ以下になる住宅のことをいいます。

## ゼッチプラス ZEH+ (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・プラス)

ZEHより更なる省エネルギーに努めた住宅で、太陽光発電設備等で創ったエネルギーの自家消費率を向上させた住宅のことをいいます。

## 新規 GX志向型住宅

ZEH水準を大きく上回る省エネ性能を有する脱炭素志向型の住宅のことをいいます。

CO<sub>2</sub>削減や地球温暖化対策に貢献

ZEHに暮らす人の声

(ZEHを) 薦めたいと思う約92%

住宅内の温度差が少なくなり、負担が減った

推奨のポイントは光熱費の安さ

カビや結露が発生しにくい

(一社)環境共創イニシアチブ「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス実証事業調査発表会2025」より抜粋